

内閣府「食生活に関する世論調査」の結果

2021年1月

まとめ≡ごみかん運営委員 小野寺 勲

食生活に関する国民の意識を把握し、今後の施策の参考とするため実施したアンケート調査の結果。全国の18歳以上の日本国籍を有する者3,000人を対象として、2020年9月17日～11月1日に郵送法にて調査。有効回収数1,967人（回収率65.6%）。このアンケートでは、食品ロス、食育、米の消費について質問しているが、ここでは、食品ロスについての回答結果を一部割愛して掲載しました。

①家庭における食品ロス削減の工夫（複数回答）

(%)

冷蔵庫の中の食品をわかりやすく整理している	35.3
食材を捨てることがないように調理の仕方や献立を工夫	49.3
食べ残しが出ないように心がけて食事している	62.8
こまめに買い物をして、適切な量を購入している	38.6
余った食材は寄付している	0.8
買ってから日が経っていても自身の判断で食べている	51.0
その他	3.3
特に工夫をしていない	4.7
無回答	3.3

②賞味期限や消費期限を意識して購入する食品

（複数回答）

(%)

生鮮食品（肉・魚など日持ちしないもの）	86.9
加工食品（弁当・惣菜・牛乳など日持ちしないもの）	77.6
加工食品（レトルト・冷凍など日持ちするもの）	26.2
特になし	3.1
無回答	2.0

（②で意識して購入する食品を答えた人の場合）

③賞味期限や消費期限を意識している食品の購入

行動 n=1,868

(%)

期限が短くても商品棚の手前から購入している	12.7
商品棚の奥から購入している	68.9
特に意識せず購入している	16.4
無回答	2.0

④賞味期限や消費期限が近く値引きされた場合に

購入する食品（複数回答）

(%)

生鮮食品（肉・魚など日持ちしないもの）	60.1
加工食品（弁当・惣菜・牛乳など日持ちしないもの）	59.2
加工食品（レトルト・冷凍など日持ちするもの）	34.0
購入しない	11.7
無回答	1.1

（④で購入しないと答えた人の場合）

⑤賞味期限や消費期限が近く値引きされた食品を

購入しない理由（複数回答）

n=231

(%)

安全面に不安があるから	40.7
鮮度が落ちていそうだから	49.4
見た目が悪くなっているから	11.7
味が落ちていそうだから	23.8
期限内に食べる可能性が低いから	58.9
生産や流通のコストに見合った値段で売られるべき	2.2
安物ばかり買っていると、周囲の目が気になるから	0.9
その他	6.1
無回答	0.4

⑥小売店における欠品に対する意識

(%)

仕方ないと思う	74.9
不満に思う	24.7
無回答	0.4

⑦欠品した食品と類似の食品の購入

(%)

購入する	35.0
購入しない	24.1
別の日に同じものを購入する	23.5
別の小売店に同じものを購入に行く	15.7
無回答	1.7

⑧フードシェアリングの利用に対する意識

(%)

これまで利用したことがあり、今後も利用したい	31.6
これまで利用したことはあるが、今後は利用したいとは思わない	1.5
これまで利用したことはないが、今後は利用したい	50.3
これまで利用したことはなく、今後も利用したいとは思わない	14.1
その他	1.8
無回答	0.7

※フードシェアリング：小売店で売れ残った食品や飲食店で余った料理を大幅な値引きをして販売するサービス。